

思考力 判断力 表現力。 主体性 多様性 協働性。

日能研のテストは「変だ」「変わっている」——
と言われてきました。

いわゆる「従来型」のテストとは、在り方もスタイルも内容も異なるから。
「知識の量=暗記力」や「計算の速さ=処理力」などを測ることを
目的としていない、思考力・判断力・表現力を重視するテスト。
だからこそ子ども達が「おもしろい!」と感じてくれるのですが……。

2020年からの大学入試改革。最近よく聞きますよね。

知識偏重のテストから「思考力・判断力・表現力」を重視するテストへ。
求められる主体性・多様性・協働性。評価も点数だけの評価から、
“多様な方法”で“公正”に評価する方向への意識の転換も必要……。
どうやら日本のテストも、ようやく本気で変わっていくようです。

「従来型と異なる」と言えば、私学の中学入試問題。

何といっても、おもしろい! ワクワクする!
日能研の電車内広告「シカクイアタマをマルくする。」で、
28年間お伝えしている通り。私学の学びはブレない。
いつの時代でも、必要な変化をしながら、
「世界への学力」を育てようとしています。

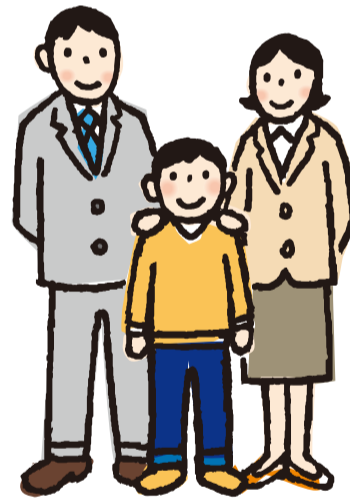
**「うちの子にできるかしら?」
「いまの勉強で……いいのかな?」**

保護者のみなさま、ご心配なく。
子どもの学びと成長。大学への準備、未来への準備。変化への予測。
日能研がお手伝いします!

「明日からの学び」、
いま始めるとき。
まずは、
このテストから——。



6月、始める、
日能研。



明日からの学び、このテストから——6月、始める、日能研。

日能研 全国テスト

